



## 市民公開講座について



演題：もしも心臓が正座したら？ -虚血性心疾患の話-

日時：平成29年5月26日(金) 14:00~15:30 (受付開始13:30)

会場：東村山サンパルネ2階 コンベンションホール

演者：多摩北部医療センター 循環器内科部長 村崎 理史

定員：100名

申込：申込不要。直接会場までお越しください。



### 紹介・予約のご案内

患者さんのご紹介にあたっては「紹介状(診療情報提供書)」と「受診科のご予約」をお願いいたします。また、紹介状には受診科の明記をお願いいたします。初診時に紹介状が無い場合は、診療費の他に選定療養費として1,338円(税込)が加算されます。

#### 予約センター

**予約専用電話:042-396-3190-3511**

予約受付時間：月~金曜日 9時~19時・土曜日 9時~12時

※お急ぎや受診予約希望や、受診に関してご相談等の場合は、地域医療連携室(受付時間：月~金曜日 9時~17時)までご連絡ください。

#### 各種検査予約

**代表電話番号:042-396-3811**

##### 放射線

代表番号より下記へご連絡願います。(受付時間：月~金曜日 9時~17時)

CT・一般X線検査：内線 2236 MRI検査：内線 2600

核医学検査：内線 2140 放射線治療：内線 2073・2169

##### 内視鏡

予約センター又は地域医療連携室へご連絡の上、「内視鏡外来(金曜午後)」のご予約をお願いいたします。なお、内視鏡外来は、紹介予約制とさせていただきます。

《お知らせ》

内視鏡室は、2室から**3室に増室**しました。患者様の安全面にも配慮し、より快適にお使いいただけるように改修しています。ご紹介をお待ちしております。



《 地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ 》  
地域医療連携室 042-396-3811 内線 2073



多摩北部医療センター

地域医療連携ニュース

第99号

平成29年5月



# たまほく



## 院長就任のご挨拶

今年度は年度の切り替え時に桜が咲き、別れと出会いのときを彩り、今はもっとも過ごしやすい(と私は思います)新緑の季節を迎えています。連携医療機関の先生方におかれましては常日頃から格段のご愛顧をいただき感謝申し上げます。

さて急なことですが、4月1日付けで上田院長の後任として多摩北部医療センター院長に就任いたしました。この1年間、地域医療連携の担当副院長として当院に勤務してまいりましたので、ご存じの先生も多数おられ、その意味ではほっとしています。しかし、院長職は初めての経験ですので緊張の毎日となっています。何か先生方に失礼がありましたら申し訳ありませんがご容赦願えますと幸いです。

当院は青木元院長・上田前院長の積極的な運営方針により、ここ数年、急速に発展してまいりました。今後もこの方針を継続してまいりますとともに、地域をささえる急性期病院としてさらに展開したいと思っております。不慣れなことも多々ありますが、患者さんのご紹介を含めてよろしくご指導ください。

ご承知かとも思いますが私の専門は消化器外科、特に腹腔鏡下手術です。「きず」の見えない手術を希望する患者さん、おなかの「きず」を気にする患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。またこの4月より消化器外科を標榜し、女子医大から消化器外科医長の高橋(平成29年1月から)と医員の小竹が入職しました。さらに私の後任副院長には、都立多摩総合医療センターから高西喜重郎(専門は肝胆膵外科)が赴任し、この分野の充実が図られました。大学病院や地域がん診療連携拠点病院に劣らない診療ができると考えております。ぜひご利用ください。なお秋山副院長の後任には循環器内科部長だった三谷健一が昇任しております。合わせてお引き立て願います。

最後になりますが、先生方におかれましては多摩北部医療センターとのさらなる連携の充実とともに、ますますのご健勝とご発展を念じています。今後ともよろしくお願いたします。





## 地域医療連携室長

### 就任の挨拶



副院長 高西 喜重郎

平成 29 年 4 月 1 日付けで、松本副院長の後任として外科系副院長を拝命した高西 喜重郎（たかにし きじゅうろう）と申します。前任地 東京都立多摩総合医療センターでは、23 名の外科医を束ねるほかに、がん診療推進委員会、外来化学療法センター、入院サポートセンターなどを担当させていただいておりました。

専門分野は消化器外科、なかでも肝胆膵外科を専攻し、多摩地域ではまだあまり普及していない肝臓・膵切除などの内視鏡外科手術も行って参りました。肝切除では大きな手術創が必要なところ、創の縮小率は極めて高く、また、開腹で要する肝脱転操作を省略し得る場合にはリンパ管の破壊が最小限で済み、術後の腹水貯留が軽減することから肝機能の低下している患者さんの一部にも手術的治療の道が開かれました。これらの低侵襲手術をご希望される患者さんがおられましたら、当院までご紹介いただくと幸いです。

当院においては地域医療連携や医療安全、災害医療などを担当いたします。安全で質が高く、効率的な医療を提供できるよう、病院のシステムを作り続けていきます。また、連携医の先生方とともに地域住民・患者さんが安心して暮らせるよう微力ながら尽力して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 「食事・栄養サマリー」による 情報提供をはじめました

栄養科長 石川 恵子

多摩北部医療センターでは、管理栄養士をはじめとした多職種共同で、入院患者さんの病状や摂食嚥下機能などに応じた栄養管理と食事提供を行っています。栄養科では、退院されたあとも引き続き患者さんに適した食事を召し上がっていただくために、必要に応じて管理栄養士が入院中に食べていた治療食の種類や形態等を記載した「食事・栄養サマリー」を作成し、情報提供する取り組みを始めました。

摂食嚥下障害のある患者さんには、とろみをつけたりミキサーにかけるなど機能にあわせた食事の調整が必要ですが、食事形態や食種の名称は施設間で統一されていないのが現状です。当院での食事内容を正確に伝えるため、「食事・栄養サマリー」には食形態の標準化のために作成された「摂食嚥下リハビリテーション学会基準」に基づいた分類を併記するとともに、写真入り資料も添付しています。

また、栄養食事指導を実施した患者さんで、食事療法の継続のためご家庭での実践状況を確認していただきたいケースなどの情報提供も行っています。

退院する全患者さんの「食事・栄養サマリー」作成は困難な状況ですが、必要な場合は作成いたしますので地域医療連携室までご連絡ください。



## 副院長

### 就任の挨拶



副院長 三谷 健一

この度秋山先生の後任として内科系副院長に就任致しました三谷です。

昭和 63 年高知医科大学（現高知大学）を卒業後同大学の老年病科に入局しました。当時の東京都老人医療センターで一年間の研修をさせていただいたことが縁となり、その後平成 7 年に多摩老人医療センターの循環器科に勤務することとなりました。以来 22 年が経過し、病院も平成 17 年の多摩北部医療センターへの改編に伴い、高齢者に特化した医療から、小児から高齢者まで全年代に対応する病院へと生まれ変わりました。現在は地域医療支援病院、救急病院として地域に貢献することを大きな目的としております。

外科系診療科とも協力し、循環器内科、消化器内科や神経内科等の内科系各診療科はそれぞれに急性期医療に注力し、二次救急医療機関としての使命を果たすべく努力しております。

救急医療以外にも、内分泌代謝内科は看護部、栄養科と協力して糖尿病療養指導を行うなど、生活習慣病による合併症を予防するための中長期的な視野に立った指導・診療にも力を入れています。

クリーンルームが増えた血液内科や、地域の中核となり得る陣容の腎臓内科、既に近隣随一の体制となったリウマチ膠原病科も諸先生方の御要望にこたえるに足る質量を備えつつあると考えております。

これまで地域の方には地域連携の会などの機会を通じてお話を伺う機会もありましたが、これを機に今までも増して御指導をいただけますよう、御挨拶とお願いを申し上げます。今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 新任医師紹介について

役職	名前	診療科	得意(専門)分野・手技等
院長	マツモト ジュン 松本 潤	外科	消化器外科(特に大腸外科・内視鏡外科・がん化学療法)
副院長	タカニシ キジューロウ 高西 喜重郎	外科	肝胆膵外科(肝胆膵内視鏡外科)
副院長	ミタニ ケンイチ 三谷 健一	循環器内科	循環器疾患全般
医員	カメヤマ キンイチ 亀山 欽一	循環器内科	虚血性心疾患、心臓カテーテル治療
	イタニ リョウスケ 猪谷 亮介	循環器内科	循環器内科
	カワカツ ナオミ 川勝 なおみ	循環器内科	循環器内科
	スギハラ マコト 杉原 誠人	リウマチ・膠原病科	関節リウマチ、膠原病、自己免疫疾患一般
	コタケ ショウ 小竹 将	消化器外科	外科、消化器外科、消化管、腹腔鏡下手術、内視鏡治療
	ナガクラ アキト 永倉 暁人	小児科	小児科一般
	ウオミズ マリ 魚水 麻里	整形外科	肩・膝・スポーツ外科
モトハシ マサタカ 本橋 正隆	整形外科	一般整形外科	
ウラズミ ユウスケ 浦住 勇介	歯科口腔外科	口腔外科	

※常勤医師のみ掲載